

8/19 Sat. OPEN CAMPUS 模擬授業

学 科	担当者	タイトル	内容
英語文化コミュニケーション学科	濱口壽子准教授	英語はグローバル社会を覗く窓	英語は世界で一番話されている言語ですが、母語としている人の数で言う一位ではありません。そんな英語の多様性から見る、多様な現代社会や人々の姿を探ります。
日本語日本文学科	深沢了子教授	『伊勢物語』の展開 ―第六段（芥川）はこんなに変わった！―	江戸時代にはどのように古典文学を楽しんだのでしょうか？ 『伊勢物語』を題材とした江戸の文学作品を紹介します。
哲学科	山田 庄太郎准教授	ビュリダンのロバは困っている： 合理的な選択って何だろう？	「ビュリダンのロバ」というお話を基に、合理的であるとはいかなることか、また哲学を学ぶことの現代的意義について、皆さんと共に考えたいと思います。
史学科	佐々木恵介教授	名前からみる奈良時代の社会 ―女性と男性、庶民と貴族―	正倉院に伝わる古文書などによって、約2万人の奈良時代の人々の名前がわかっています。この時代の女性と男性、庶民と貴族の名前の特徴から、約1300年前の日本社会のようすを探っていきます。
人間関係学科	岩原紘伊専任講師	世界遺産は誰のためのもの？	世界遺産は人気の観光地です。保全か開発か？ インドネシア・バリの事例から世界遺産を守ることの難しさについて一緒に考えましょう。
国際交流学科	畑浩一郎准教授	花の都パリの魅力	ファッションやグルメの町、芸術の都？ そんなステレオタイプに収まらないフランスの首都パリの魅力を、みなさんにこっそりとお教えしましょう。
心理学科	神前裕子准教授	パーソナリティ(性格)って何だろう？	心理学では、パーソナリティ（性格）についてどのように研究されてきたのでしょうか？ 性格の捉え方や発達や変化についてご紹介します。
教育学科	加藤洋子准教授	子どもたちの未来を考えよう！ ―絵本から考える多様性と人権を守ること―	多様化する家族について学び、子どもたちの未来を考えます。絵本や映像を通して人権を守ることに ついて一緒に考えましょう。

8/20 Sun. OPEN CAMPUS 模擬授業

学 科	担当者	タイトル	内容
英語文化コミュニケーション学科	金澤洋子教授	コミュニケーションのルール	円滑なコミュニケーションを行うために我々はどういうことをしているのでしょうか？日本語と英語では違いがあるのでしょうか？コミュニケーションのルールについて考えてみましょう。
日本語日本文学科	清水由貴子准教授	面白い日本語の表記―「冷たいキレ味」「政治とカネ」「コツを教えます！」―	世界の言語の中で最も複雑かつ自由だと言われている日本語の表記。商品名や本のタイトル、街中の看板などに見られる「カタカナ」に焦点を当て、日本語の表記の面白さに迫ります！
哲学科	佐藤紀子専任講師	一目ぼれと哲学	なにものでもなかったものが一瞬にして大切なものになる―一目ぼれ。この出来事を哲学的に考えてみましょう。
史学科	印出忠夫教授	聖母マリア像からさぐる中世ヨーロッパのキリスト教	マリア様はときに厳かに、ときに優雅に、ときに哀し気に、それぞれの時代の人々の信仰と思いを写し出して描かれました。
人間関係学科	木戸功教授	家族について考える	身近な存在であるはずの家族についてあらためて社会学の立場から考えてみます。実はけっこうややこしい。家族とは何か？一緒に考えてみましょう。
国際交流学科	佐々木亮専任講師	日本の中のグローバル化を考える	移民政策はとらない？、外国人労働者の増加、入管法の改正など、ニュースでよく耳にする論点、私たちにどのように関わるのか、国際法・国内法の両面から一緒に考えていきましょう。
心理学科	平井美佳教授	「私」とは何だろうか	「私（らしさ）」は一体どのようにつくられるのでしょうか。自己やアイデンティティについて心理学の観点から考えます。
教育学科	小山裕樹准教授	「教育」の「根っ子」を探る！ ―皆さんは「教育」をどう見ていますか？―	皆さんがこれまで「学校」や「塾」や「家庭」などで当たり前のように接してきたあの「教育」と呼ばれる営み。その「教育」の「根っ子」にあるものを探ります。